

校訓 正しく 明るく 健やかに

4月11日発行



令和7年度スタート！

校長 加藤 弓子

全校生徒数252名で令和7年度の品野中学校がスタートしました。「品野中学校に通ってよかった」「品野中学校に通わせてよかった」「地域に品野中学校があってよかった」と思っていただけの学校をつくっていきたくと思っています。地域のみなさま、保護者のみなさま、今年度も温かいご支援をよろしくお願いたします。

.....

<入学式校長式辞より抜粋>

春になり、アウトドア商品の広告をよく目にするようになってきました。「失敗しないキャンプアイテム」、「失敗しないバーベキューギア」ということばが目にとまりました。素早く火を付けることができ、焦げにくい仕組みになったグリルはきっと便利だと思います。「失敗をしない」というのは、ものごとをスムーズに進めるために大切なことです。でも、「失敗は、必ずしもダメなことではない」と思います。

「僕はプロになってから928回も三振していて…打たれたヒットの数は647で…ホームランは59本打たれ…しかも失点数はぜんぶで281…」

覚えている人もいると思いますが、大谷選手が出演していたテレビのCMの一部です。最後は「失敗の数だけ、僕たちは成長できる。次の世界へ。」と結ばれます。

今や世界のスーパースターといっても過言ではない大谷選手は、アメリカに行くとき、当時の日本ハムファイターズの栗山英樹監督に問われたそうです。「なんでアメリカに行かなきゃいけないんだ？」

大谷選手の答えは「成功するとか失敗するとか僕には関係ない。それをやってみることの方が大事」

「失敗する」「間違える」という経験は、私たちにつきものです。でも、それは自分が成長するチャンスであると、大谷選手が教えてくれているように思えます。そして、学校は「失敗してもいい場所、間違えてもいい場所」です。もちろん取り返しのつかない、してはいけない失敗もあります。そうでなければ、自分の非を認め、つぎに同じことを繰り返さないためにはどうしたらいいのかを考えて、またやり直せばいいのです。失敗すること、間違えることは、成長するチャンスなのです。ぜひ、この品野中学校の三年間で、失敗を恐れずいろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。また、仲間の失敗を互いに許し合う気持ちをもってほしいと思います。